

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-175948

(43)Date of publication of application : 29.06.2001

(51)Int.Cl.

G07F 17/42  
B42D 15/10  
G07B 1/00  
G07F 7/08

(21)Application number : 11-360923

(71)Applicant : SANKYO SEIKI MFG CO LTD

(22)Date of filing : 20.12.1999

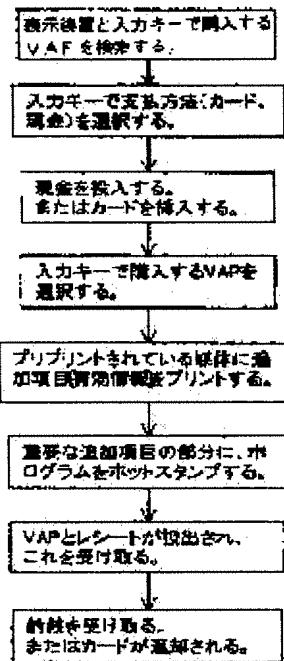
(72)Inventor : IMAI EIJI

### (54) ISSUING METHOD FOR MEDIUM AND MEDIUM TO BE ISSUED

#### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an issuing method for medium and a medium to be issued with which forgery or revising can be inexpensively prevented.

**SOLUTION:** Concerning the issuing method for medium for issuing the medium, on which a common item is preprinted, after recording validity information showing that medium is valid, after the validity information is recorded, at least one important part of the validity information is covered, a seal member is stuck so as to watch the covered validity information and the medium is issued.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.02.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's withdrawal decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application] 26.09.2005

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2001-175948  
(P2001-175948A)

(43)公開日 平成13年6月29日 (2001.6.29)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 07 F 17/42		G 07 F 17/42	2 C 0 0 5
B 42 D 15/10	5 0 1	B 42 D 15/10	5 0 1 Z 3 E 0 4 4
G 07 B 1/00		G 07 B 1/00	E
G 07 F 7/08		G 07 F 7/08	M

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全6頁)

(21)出願番号 特願平11-360923

(22)出願日 平成11年12月20日 (1999.12.20)

(71)出願人 000002233  
株式会社三協精機製作所  
長野県諏訪郡下諏訪町5329番地

(72)発明者 今井 栄治  
長野県諏訪郡原村10801番地の2 株式会  
社三協精機製作所諏訪南工場内

(74)代理人 100088856  
弁理士 石橋 佳之夫  
Fターム(参考) 2C005 HB01 HB13 HB20 JA18 JB08  
3E044 AA02 DD02 DE07

(54)【発明の名称】 媒体の発行方法及び発行媒体

(57)【要約】

【課題】 偽造や改竄などを安価に防止することができる媒体の発行方法及び発行媒体を得る。

【解決手段】 共通項目がプリプリントされた媒体に、その媒体が有効であることを示す有効情報を記録して発行する媒体の発行方法において、有効情報を記録した後に、有効情報の少なくとも重要な一部を覆い、かつ、覆われた有効情報が目視できるシール部材を貼り付け、媒体を発行するようにしている。

表示装置と入力キーで購入するVAPを検索する。

↓  
入力キーで支払方法(カード、現金)を選択する。

↓  
現金を投入する。  
またはカードを挿入する。

↓  
入力キーで購入するVAPを選択する。

↓  
プリプリントされている媒体に追加項目(有効情報)をプリントする。

↓  
重要な追加項目の部分に、ホログラムをホットスタンプする。

↓  
VAPとレシートが投出され、これを受け取る。

↓  
納録を受け取る。

**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 共通項目がプリプリントされた媒体に、その媒体が有効であることを示す有効情報を記録して発行する媒体の発行方法において、

上記有効情報を記録した後に、上記有効情報の少なくとも重要な一部を覆い、かつ、上記覆われた有効情報が目視できるシール部材を貼り付け、媒体を発行するようにしたことを特徴とする媒体の発行方法。

**【請求項2】** 上記有効情報は、有効日付、名称、値段、数字、および有効期限のうちの少なくとも一つを含む上記発行媒体に価値を付与する情報であることを特徴とする請求項1記載の媒体の発行方法。

**【請求項3】** プリプリントされた媒体をスタッカーに複数用意しておき、媒体の発行指令により媒体一枚を取り出し、上記有効情報をプリント手段により所定位置に記録し、その後、上記有効情報の少なくとも重要な一部を覆うように上記シール部材を貼り付け、媒体を発行するようにしたことを特徴とする請求項1記載の媒体の発行方法。

**【請求項4】** 上記シール部材は、ホログラム箔であることを特徴とする請求項3記載の媒体の発行方法。

**【請求項5】** 共通項目がプリプリントされると共に、その媒体が有効であることを示す有効情報を記録して有効媒体として発行される発行媒体であって、

上記有効情報の少なくとも重要な一部を覆い、かつ、上記覆われた有効情報が目視できるシール部材が貼り付けられていることを特徴とする発行媒体。

**【請求項6】** 上記有効情報は、有効日付、名称、値段、数字、および有効期限のうちの少なくとも一つを含む上記発行媒体に価値を付与する情報であり、上記シール部材は、ホログラム箔であることを特徴とする請求項5記載の発行媒体。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】** 本発明は、偽造や改竄などを安価に防止することができる媒体の発行方法及び発行媒体に関するものである。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来、その場で即時発行される証明書、チケット、クーポン、引換券、金券等の付加価値媒体には、発行日付、氏名、値段、番号、有効期限など、発行時に印刷される項目を除いた共通項目が予め印刷（プリプリント）されている。そして、このプリプリントされた媒体は、その場で発行する際に必要な、上記発行日付、氏名、値段、番号、有効期限などのその媒体を有効とする追加項目がプリントなどでプリントされて発行される。例えば、遊園地等の1日入園券には、日付や番号などがプリントされて初めて有効になる。

**【0003】**

る上記追加項目は、発行日付、氏名、値段、番号、有効期限など、その媒体がもっている価値や内容を有効にする重要な項目である。しかしながら、この追加項目が単純なプリントで発行された場合には、発行後に容易に改竄されてしまう危険がある。また、共通項目がプリプリントされた媒体が盗難されると、簡単に上記追加項目がプリントされて偽造されてしまう。

**【0004】** 本発明は以上のような従来技術の問題点を解消するためになされたものであり、偽造や改竄などを安価に防止することができる媒体の発行方法及び発行媒体を提供することを目的とする。

**【0005】**

**【課題を解決するための手段】** 請求項1記載の発明は、共通項目がプリプリントされた媒体に、その媒体が有効であることを示す有効情報を記録して発行する媒体の発行方法において、上記有効情報を記録した後に、上記有効情報の少なくとも重要な一部を覆い、かつ、上記覆われた有効情報が目視できるシール部材を貼り付け、媒体を発行するようにしたことを特徴とする媒体の発行方法である。

**【0006】** 請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明において、上記有効情報は、有効日付、名称、値段、数字、および有効期限のうちの少なくとも一つを含む上記発行媒体に価値を付与する情報であることを特徴とする。

**【0007】** 請求項3記載の発明は、請求項1記載の発明において、プリプリントされた媒体をスタッカーに複数用意しておき、媒体の発行指令により媒体一枚を取り出し、上記有効情報をプリント手段により所定位置に記録し、その後、上記有効情報の少なくとも重要な一部を覆うように上記シール部材を貼り付け、媒体を発行するようにしたことを特徴とする。

**【0008】** 請求項4記載の発明は、上記シール部材は、ホログラム箔であることを特徴とする。

**【0009】** 請求項5記載の発明は、共通項目がプリプリントされると共に、その媒体が有効であることを示す有効情報を記録して有効媒体として発行される発行媒体であって、上記有効情報の少なくとも重要な一部を覆い、かつ、上記覆われた有効情報が目視できるシール部材が貼り付けられていることを特徴とする発行媒体である。

**【0010】** 請求項6記載の発明は、請求項5記載の発明において、上記有効情報は、有効日付、名称、値段、数字、および有効期限のうちの少なくとも一つを含む上記発行媒体に価値を付与する情報であり、上記シール部材は、ホログラム箔であることを特徴とする。

**【0011】**

**【発明の実施の形態】** 以下、図面を参照しながら本発明にかかる媒体の発行方法及び発行媒体の実施の形態につ

ット、クーポン、引換券、金券等の付加価値媒体（Value Added Paper）をその場で即時発行することができるセルフサービススターミナルを示している。このセルフサービススターミナル1は、表示装置2、入力キー3、カード挿入口4、紙幣投入口5、硬貨投入口6、硬貨返却口7、媒体投出口8とを主に有している。また、図3に示すように、セルフサービススターミナル1内には、スタッカー10、プリント手段であるプリンタ11、シール貼付手段であるスタンプユニット12、およびコントローラ13が設けられている。

【0012】上記スタッカー10は、上記媒体投出口8に連通するように設けられており、このスタッカー10には、有効日付、名称、値段、数字、有効期限など発行時に印刷する事項を除いた共通項目が予め印刷（プリプリント）された付加価値媒体が多数用意されている。また、上記プリンタ11は、付加価値媒体が有効であることを示す、有効日付、名称、値段、数字、有効期限等のうちあらかじめ定められた付加価値媒体に価値を付与する有効情報を、付加価値媒体の所定の位置に記録するものであり、例えば、サーマルプリンタ等を用いることができる。

【0013】上記スタンプユニット12は、サーマルプリンタ11によって記録された有効情報の少なくとも重要な一部を覆うシール部材を貼り付けるためのもので、例えば、ホログラムホットスタンプユニットを用いることができる。また、上記コントローラ13は、表示装置2、入力キー3、カード挿入口4、紙幣投入口5、硬貨投入口6、硬貨返却口7、媒体投出口8、スタッカー10、プリント手段11、貼付手段12等を制御すると共に、セルフサービススターミナル1の発行状況やデータをセンター20と送受信するためのものである。

【0014】上記表示装置2は、購入することができる様々な付加価値媒体や、付加価値媒体の購入金額、有効日などが表示されるものである。上記入力キー3は、付加価値媒体の支払方法（現金あるいはカード）を選択したり、購入する付加価値媒体を選択するときなどに用いられるものである。上記カード挿入口4は、付加価値媒体の支払方法がカードを用いる場合、このカードを挿入する挿入口である。上記紙幣投入口5および上記硬貨投入口6は、付加価値媒体の支払方法が現金である場合に、紙幣を投入したり硬貨を投入する投入口である。上記硬貨返却口7は、付加価値媒体の支払方法が現金である場合に釣り銭が返却される返却口である。上記媒体投出口8は、購入された付加価値媒体とそのレシートが投出される投出口である。

【0015】次に、付加価値媒体の発行方法について説明する。図1ないし図3に示すように、まず、表示装置1に表示された様々な付加価値媒体や付加価値媒体の購入金額を目ながら入力キー3で購入する付加価値媒体

方法を現金にするかカードにするか選択する。現金で支払う場合は、紙幣投入口5あるいは上記硬貨投入口6に紙幣、硬貨を購入金額に応じた分だけ投入する。一方、カードで支払う場合は、カード挿入口4にカードを挿入する。その後、入力キー3で購入する付加価値媒体を選択する。

【0016】入力キー3で購入する付加価値媒体が選択されると、付加価値媒体の発行指令により、スタッカー10に複数用意された、有効日付、名称、値段、数字、有効期限などを除いた共通項目が予め印刷（プリプリント）された付加価値媒体のうちの一枚が取り出され、その付加価値媒体には、有効日付、名称、値段、数字、有効期限のうちの少なくとも一つを含む付加価値媒体に価値を付与する有効情報がサーマルプリンタ等のプリント手段11によって所定の位置に記録される。その後、前記貼付手段12によって、付加価値媒体の所定の位置に記録された有効情報の少なくとも一部を覆うようにシール部材が貼り付けられる。シール部材の貼り付けは、重要な事項を少なくとも覆うようになる。このシール部材は、覆われた有効情報が目視することができるものであり、例えば、シール部材としてホログラム箔を用いることができる。シール部材として接着剤付きのホログラム箔を用いた場合は、有効情報の少なくとも一部を覆うように貼付手段12によってホットスタンプすることができる。

【0017】上述のように、有効情報の少なくとも一部を覆うようにシール部材が貼り付けられた付加価値媒体は、レシートと共に媒体投出口8から投出されて発行される。そして、付加価値媒体の支払方法が現金であり釣り銭がある場合は、硬貨返却口7から釣り銭が返却され、一方、付加価値媒体の支払方法がカードを用いた場合は、カード挿入口4からカードが返却される。なお、このセルフサービススターミナル1の発行状況は、データ信号としてコントローラ13によってセンター20と送受信する。

【0018】以上のように、有効情報をプリント手段11によって付加価値媒体の所定の位置に記録した後、有効情報の少なくとも重要な事項を含む一部を覆い、かつ、覆われた有効情報を目視することができるシール部材を貼り付けて、付加価値媒体を発行するようにしたため、発行後の付加価値媒体の偽造や改竄などを安価に防止することができる。換言すれば、上述の発行方法によって有効媒体として発行された付加価値媒体は、有効情報の少なくとも一部又は全体を覆い、かつ、覆われた有効情報が目視することができるシール部材が貼り付けられているため、発行後の偽造や改竄を防止されて、本来の目的のみに有効に利用される。

【0019】次に、上記付加価値媒体の具体的な例をいくつか挙げる。図4には、「は、平成10年度本校工学

刷（プリプリント）された卒業証明書を示している。この卒業証明書の有効情報は卒業者の氏名であり、図5に示すようにこの氏名を覆うようにシール部材30を貼り付けることにより、発行後の卒業証明書の偽造や改竄などを安価に防止することができる。

【0020】また、図7には、「2001年」等の共通項目が予め印刷（プリプリント）された1日入園券を示している。この1日入園券の有効情報は日付であり、図8および図9に示すように、この日付のうち月日を覆うようにシール部材31を貼り付けることにより、発行後の1日入園券の偽造や改竄などを安価に防止することができる。

【0021】また、図10には、「2001年4月まで有効」等の共通項目が予め印刷（プリプリント）されたスポーツクラブの会員証を示している。この会員証の有効情報は氏名であり、図11に示すように、この氏名の一部を覆うようにシール部材32を貼り付けることにより、発行後の会員証の偽造や改竄などを安価に防止することができる。

【0022】さらに、図6には、「単価 15000円」等の共通項目が予め印刷（プリプリント）された領収書を示している。この領収書の有効情報は品物の値段であり、図示のようにこの値段の少なくとも一部を覆うようにシール部材33を貼り付けることにより、領収書発行後の偽造や改竄、返品詐欺などを安価に防止することができる。ただし、この場合、金額の高い桁を貼るようになることが好ましい。

### 【0023】

【発明の効果】請求項1記載の発明によれば、共通項目がプリプリントされた媒体に、その媒体が有効であることを示す有効情報を記録して発行する媒体の発行方法において、上記有効情報を記録した後に、上記有効情報の少なくとも重要な一部を覆い、かつ、上記覆われた有効情報が目視できるシール部材を貼り付け、媒体を発行するにしたため、発行後の付加価値媒体の偽造や改竄などを安価に防止することができる。

【0024】請求項3記載の発明によれば、請求項1記載の発明において、プリプリントされた媒体をスタッカーに複数用意しておき、媒体の発行指令により媒体一枚取り出し、上記有効情報をプリント手段により所定位位置に記録し、その後、上記有効情報の少なくとも重要な一部を覆うように上記シール部材を貼り付け、媒体を発行するにしたため、発行後の付加価値媒体の偽造や改竄などを安価に防止することができる。

【0025】請求項5記載の発明によれば、共通項目がプリプリントされると共に、その媒体が有効であること

を示す有効情報を記録して有効媒体として発行される発行媒体であって、上記有効情報の少なくとも重要な一部を覆い、かつ、上記覆われた有効情報が目視できるシール部材が貼り付けられているため、発行後の偽造や改竄を防止されて、本来の目的のみに有効に利用される。

### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に適用可能なセルフサービスターミナルの例を示す正面図である。

【図2】本発明にかかる媒体の発行方法の実施の形態を示すフローチャート図である。

【図3】上記実施の形態を示すブロック図である。

【図4】本発明に適用可能な媒体の例を示す正面図である。

【図5】本発明にかかる発行媒体の例を示す正面図である。

【図6】本発明にかかる発行媒体の別の例を示す正面図である。

【図7】本発明に適用可能な媒体の別の例を示す正面図である。

【図8】本発明にかかる発行媒体のさらに別の例を示す正面図である。

【図9】本発明にかかる発行媒体のさらに別の例を示す正面図である。

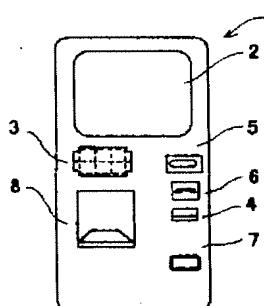
【図10】本発明に適用可能な媒体のさらに別の例を示す正面図である。

【図11】本発明にかかる発行媒体のさらに別の例を示す正面図である。

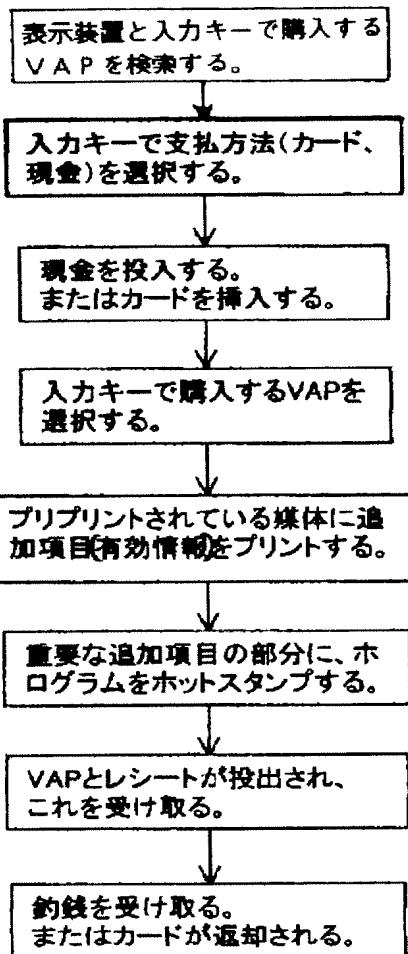
### 【符号の説明】

1	付加価値媒体
2	表示装置
3	入力キー
4	カード挿入口
5	紙幣投入口
6	硬貨投入口
7	硬貨返却口
8	媒体投出口
10	スタッカー
11	プリント手段
12	貼付手段
13	コントローラ
20	センター
30	シール部材
31	シール部材
32	シール部材
33	シール部材

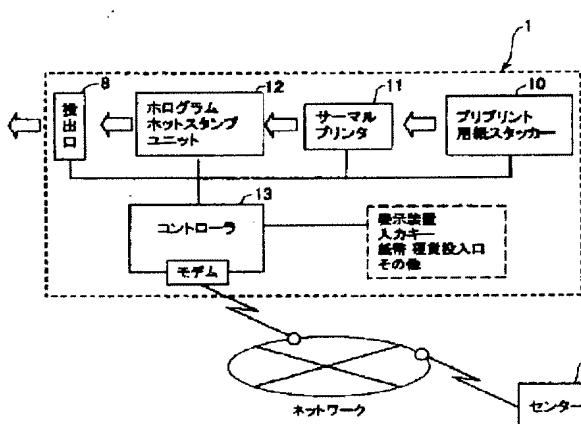
【図1】



【図1-1】



【図3】

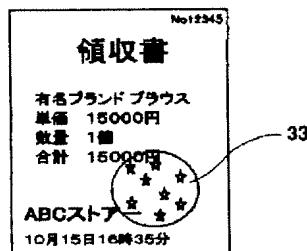


【図4】

**卒業証明証**

は、平成10年度 本校 工学部を  
卒業したことを証明する。  
**ABC大学**  
ABC大学 工学部  
平成12年03月12日

【図6】



【図5】

**卒業証明証**

番号 12345  
三協本部は、平成10年度 本校 工学部を  
卒業したことを証明する。  
**ABC大学**  
ABC大学 工学部  
平成12年03月12日

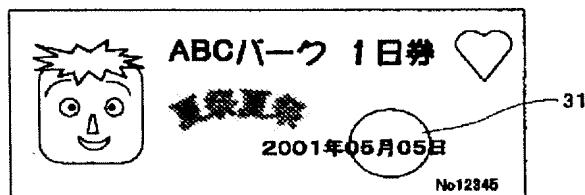
【図7】



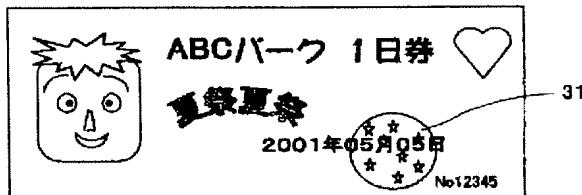
(6)

特開 2001-175948

【図 8】



【図 9】



【図 10】

